

麻疹とプロパガンダ

lukeyamaguchi | 2019 年 4 月 1 日



あなたが洞窟に住んでいない限り、きっとニュースで最近の麻疹の大発生を聞いたことがあるでしょう。その見出しには次のようにありました。「ニューヨークの保健コミッショナー：麻疹のような致命的な病気が墓から戻ってきている」[\[1\]](#)。

これを読むと、死に至る暗黒のペスト流行を思い浮かべるかもしれません。しかし、これらは全て医学ではなく陰謀論であり誤った情報が流されていることが分かるはずです。麻疹の大流行は事実なのか？予防接種キャンペーンのために製薬会社によって慎重に調整

されたプロパガンダではないのか？データをもとにこれらを解き明かしてみましょう。

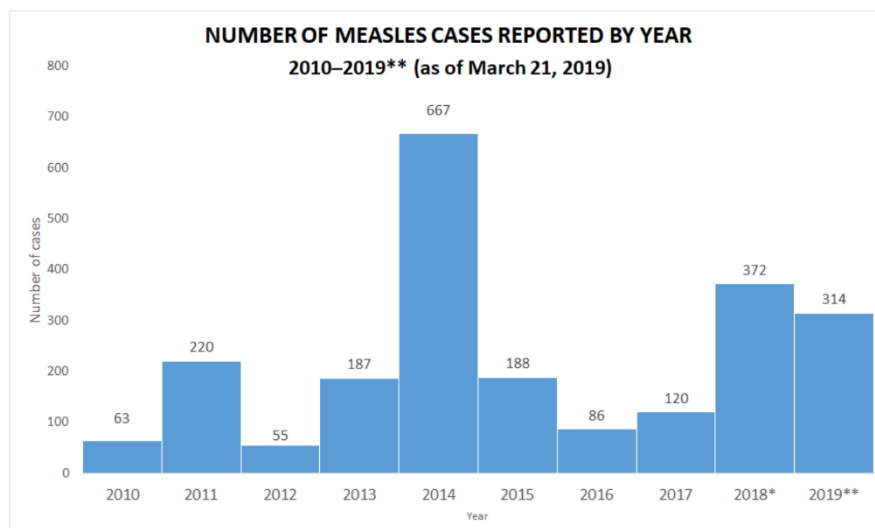
アメリカの麻疹の致命度はいかほどか？

最近のメディアでは麻疹流行の恐ろしさが連日報道されているにもかかわらず、米国では過去 18 年間で麻疹による死亡者数が12名未満でした。つまり年平均では麻疹死亡者は1人に満たないことが分かります。[\[2\]](#)。その一方で、アメリカでは毎年 25 万人が医療ミスのために死亡していると推定されていますが、それでもニュースではほとんど何も言われていません[\[3\]](#)。では、なぜ我々は最近の麻疹の流行を恐れるのでしょうか？そして、なぜ州の法律で予防接種を義務付けるようになったのでしょうか。

メディア報道

報道内容は、アンチ・ワクチンの思想が強まり予防接種率が低下していることが、麻疹流行の原因になっていると伝えていますが、これは本当でしょうか？

次のグラフは、過去 10 年間にアメリカで報告された麻疹の報告数を示しています。



麻疹の発生率は数年ごとに自然に減少し、そして急増する傾向があります。また麻疹感染は冬の終わりから春にかけてピークに達することにも注目せねばなりません。(言い換えれば、今は麻疹のピークの季節です)[\[4\]](#)。テレビニュースなどのメディアが報告しているように、近年爆発的に流行しているのは事実でしょうか？2019 年はまだ麻疹による死亡はゼロです。そして 2018 年も、2017 年も、2016 年でさえアメリカで麻疹による死亡者はいません。

では、麻疹は致命的な疾患なのでしょうか？

1963 年に麻疹ワクチンがアメリカで導入される前は、ほぼすべての子供たち(年間約 400 万人の出生コホート)が麻疹に罹患していました。私の知る限りでは、当時、誰も緊急事態を宣言したことはありません。これは、麻疹が[比較的良性の小児期の病気であると考えられていた](#)ためです- 1960 年代初頭のアメリカでの死亡率は 10,000 人に約 1 人です

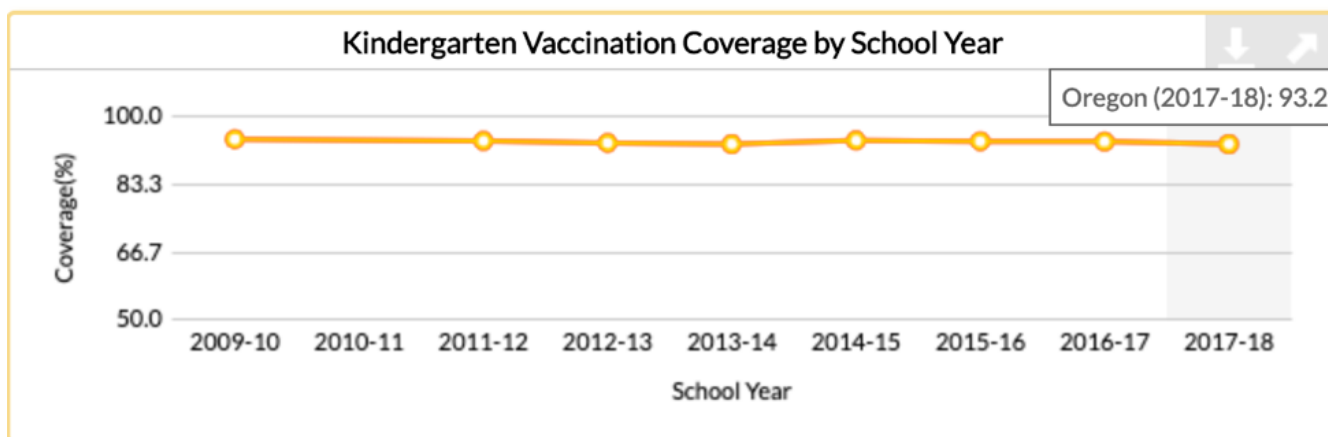
[5]。ちなみに、2017 年に偶発的な薬物中毒で死亡する可能性は 68 人に 1 人というデータがありますので、この死亡率と比較してください[6]。予防接種がスタートする前の時代でさえ、麻疹はアメリカでは致命的な疾患ではなかったことが理解できます。

とは言っても、発展途上国においては麻疹ははるかに致命的な感染症であるというのは事実です（民衆の死への恐怖を煽るために麻疹の世界的な統計データを引用する理由でもあります）。しかし、発展途上国では栄養不足で、上下水道が完備されておらず、衛生状態の悪おために麻疹は致命的な感染症になるのです。世界保健機関（WHO）によると、2017 年には約 11 万 1 千人が麻疹で死亡したと報告しています（主に 5 歳未満の子供[7]）。しかし注意しなければならないのは、「5 歳未満の幼児死亡の半分を占める主要な原因は栄養失調である」ということです[8]。実際、栄養失調で死亡する 5 歳未満の子どもは年間 300 万人以上です。飢餓の子どもに麻疹の予防接種を行うことは、子どもたちの健康に対する善行のように見えますが、世界飢餓を救う栄養改善こそが完全に予防可能な行いなのです。もし、私たちが途上国の子どもたちの生活を本当に向上させたいのであれば、彼らに予防接種を与える前に、十分な食物と清潔な水へのアクセス権を与えるべきです。

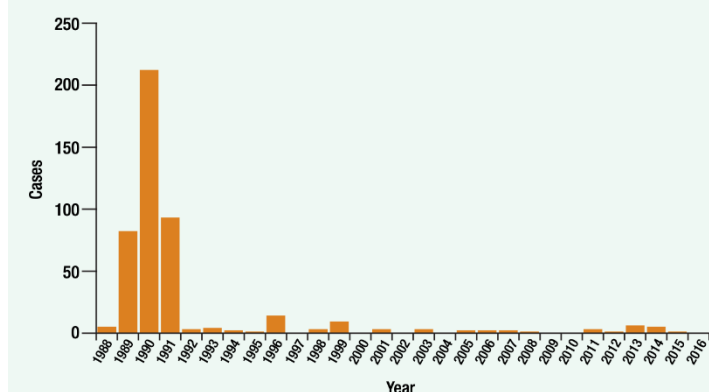
アンチ・ワクチン論者による抗ワクチン情報が、昨今の接種率の低下と麻疹の流行につながっているのでしょうか。

筆者はオレゴン州に住んでいます。そこでは、予防接種のための個人的、哲学的、および宗教的な免除を除く法律（HB 3063）が提案されています。オレゴン州では、今年、これまでに 10 人の麻疹り患が確認されています（そのうち 4 件のみがワシントン州クラーク郡での発生に関連しています）[10]。この 10 人の麻疹感染は予防接種率が手化したことが原因なのでしょうか？

CDC からのデータを引用すると、2017-2018 学年度に、オレゴン州の幼稚園児の 93.2%が MMR 予防接種（麻疹・水ぼうそう・風疹の 3 種混合）を受けたことがわかります。これらの MMR ワクチン接種率を見ると、私は過去 10 年間で大きな減少は見られません。



Measles by year: Oregon, 1988–2016



同様に、オレゴン州の現在の麻疹の発生率と過去の傾向を比較して、今までにない麻疹の増加が見られるかどうかを確認しましょう。次のグラフは、1988 年から 2016 年までのオレゴン州における麻疹の症例数を示しています（麻疹ワクチンは 1963 年にアメリカで最初に導入され、1989 年以来 2 回投与が推奨されています）。オレゴン州で確認された麻疹の 10 例は、今の報道に合致しているのでしょうか。（1989 年から 91 年はオレゴン州のはしかのためのより長

い年だったように私には思えます。実際、私は 1991 年からオレゴン州に住んでいますが、麻疹について今のように見聞きした記憶はありません。

What's needed for "herd immunity"? Depends on how transmissible it is.

Infection	R ₀	Crude Herd Immunity Threshold
Diphtheria	6–7	83%–85%
Influenza	1.4–4	30%–75%
Measles	12–18	92%–94%
Mumps	4–7	75%–86%
Pertussis	5–17	80%–94%
Polio	2–20	50%–95%
Rubella	6–7	83%–85%
Smallpox	5–7	80%–85%
Varicella	8–10?	?

Fine PEM, Mulholland K, Scott JA, Edmunds WJ. Community Protection.

In: Vaccines, 7th edition. Plotkin S, Orenstein W, Offit P, Edwards KM. Elsevier Inc, 2018:1515.

Oregon Health Authority

Oregon Health Authority (OHA)によれば、麻疹の「集団免疫」の理論的な閾値は予防接種率が 92%～94%であることも注目に値します。

しかし、前述のように、オレゴン州の幼稚園児は MMR ワクチン接種率は 93.2%なので、すでに麻疹の「集団免疫」の閾値をで満たしているはずなのです。

※集団免疫: 多くの人が予防接種によって免疫を獲得すること

これは本当に妥当なのでしょうか？

オレゴン州の幼稚園児の 93.2%が MMR 予防接種を受けているにもかかわらず、オレゴン州では今年、これまでに 10 件の麻疹が発生しています。そして、過去 3 年以上の間にアメリカで麻疹で死亡した人はいません。今世紀に入ってから現在まででアメリカで麻疹で死亡した人は 12 人未満なのです。この事実から、私たちは本当に、「致命的な」麻疹ウイルスから社会の健康と安全を守るために公立の教育施設に入学を希望する子どもたちに予防接種を義務付ける法律を制定する必要があるのでしょうか？？

麻疹の予防接種は本当に必要なものなのでしょうか？大手の製薬会社は予防接種によって利益を上げます。実際、製薬会社の推奨する予防接種の回数は約 70 回です[11]。もし民衆が予防接種を拒否する権利を奪われたら、喜ぶのは製薬会社でしょう。オレゴン州で HB 3063 が合法化された場合、必要な予防接種が 1 つでも欠けていると、子どもはオレゴンの公立学校または私立学校に通うことができません。

政府が無責任にさまざまな医薬品を義務付ける姿を想像してみてください。世界的に麻疹が大流行しているといったプロパガンダがなぜまかり通るのでしょうか？少し考えるときっと理解できることでしょう。

参考文献:

- [1] <https://www.usatoday.com/story/opinion/voices/2019/02/13/cdc-measles-new-york-washington-outbreak-column/2813829002/>
- [2] <https://www.cdc.gov/vaccines/pubs/pinkbook/downloads/appendices/appdx-full-j.pdf>
- [3] https://www.hopkinsmedicine.org/news/media/releases/study_suggest_medical_errors_now_third_leading_cause_of_death_in_the_us
- [4] <https://www.cdc.gov/vaccines/pubs/pinkbook/meas.html#epi>
- [5] <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK236288/>
- [6] <https://www.iii.org/fact-statistic/facts-statistics-mortality-risk>
- [7] <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/measles>
- [8] https://link.springer.com/chapter/10.1007/978-1-4613-9931-5_3
- [9] <https://www.unicefusa.org/press/releases/unicef-too-many-children-dying-malnutrition/8259>
- [10] <https://www.oregon.gov/oha/PH/DISEASES/CONDITIONS/DISEASESAZ/Pages/measles.aspx>
- [11] <https://www.learntherisk.org/wp-content/uploads/2018/08/vaccines-doses-details-8.5x11-inches-ltr.pdf>